



# 地域医療連携 だより

第 6 号

平成 21 年 10 月発行

富山通信病院

地域医療連携室

## 診療科紹介

### 眼 科

無いものはない店とか、コンタクトレンズ専門クリニックなどのフレーズは誤解を生みやすいものです。

前者は、否定の否定で完全肯定かと思うと、店主が開き直る店だったり、後者の専門は、販売専門だったりします。短文で自己紹介を書くとき大いに恐れるところですよ。

さて、医療機械の進歩は目を見張るものがあり、瞬く間に十年以上経過し、機械の更新に追われるのはいずれも同じことと思います。はっきり言って最新の機械をそろえているとは申しません。

したがって、最新の高度医療は目指していません。それでは何が売るかといいますと、比較的すいているので待ち時間が少ないこと、説明に十分時間のとれること、の2点です。

糖尿病網膜症の程度判定や、他眼科医での説明に悩んでいる患者さん、セカンドオピニオンを求めている方がいらっしゃれば、ご紹介いたします。

(眼科 坂井尚登)



## 開放病床症例検討会

### 第103回 開放病床症例検討会の報告(H21. 7. 21)

今回の症例は、腹痛を主訴に入院した慢性呼吸不全の症例である。

症例は 74 歳、男性。20 歳代から気管支喘息、42 歳頃心筋梗塞の既往がある。慢性閉塞性肺疾患などで近医に通院していた。1 年前から呼吸困難が増強し何とか歩行できる程度であった。7 日ほど前に夏の暑さのため点滴治療を受けた。4 日前から左腹痛が出現し食事摂取が困難となったため当科に紹介入院した。入院後、絶食、輸液を行い経過観察したところ左腹痛は軽快したため第 2 病日夕方から流動食を開始し、その後も左腹痛はみられなかった。腹部エコー、腹部 CT、上部消化管内視鏡では十二指腸炎を認めた以外の特記すべき異常を認めなかった。第 9 病日気道感染が契機と思われる CO<sub>2</sub> ナルコーシスを来したため非侵襲的陽圧換気(NIPPV)を開始した。NIPPV 開始後意識混濁や呼吸困難はみられず病状は安定していたが NIPPV を離脱できず、呼吸不全のため第 27 病日に死亡した。

勉強会では、慢性呼吸不全増悪時の NIPPV 治療について勉強した。

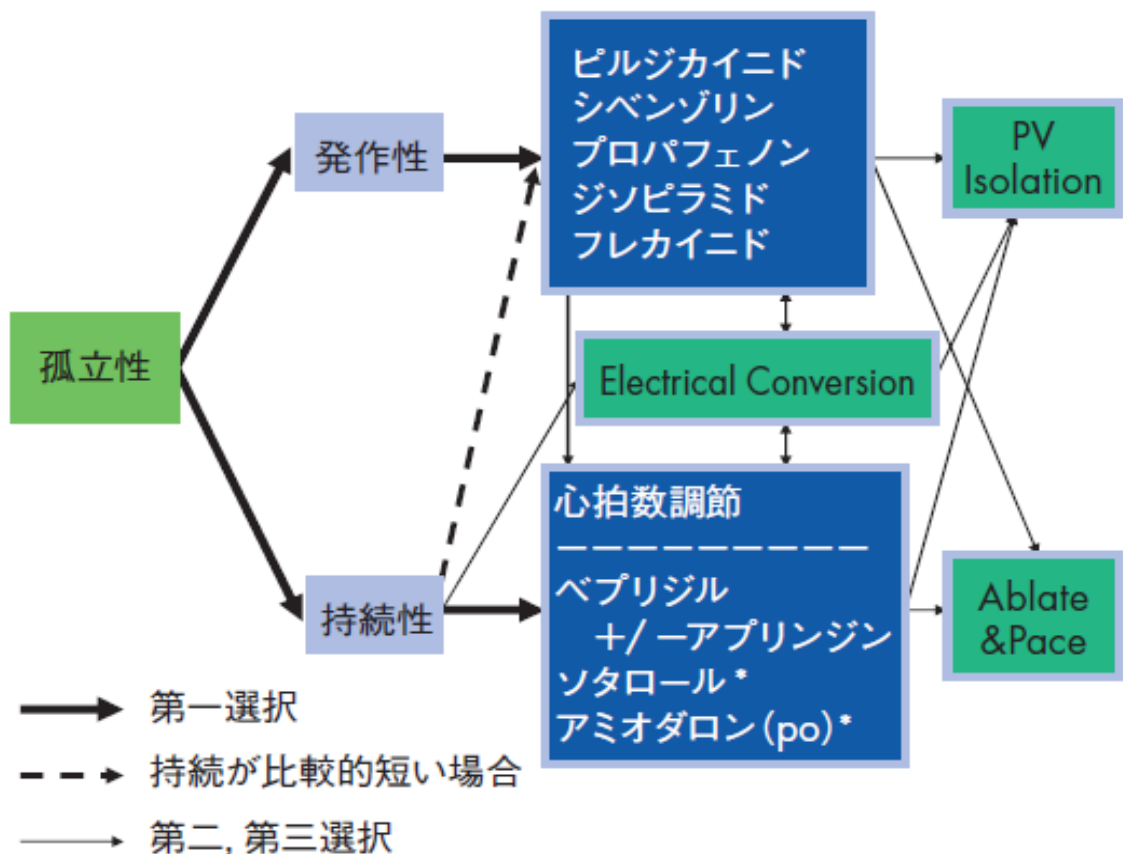
検討会出席者から、腹痛の原因についての意見、心不全の関与についての意見、病歴と身体所見からの呼吸不全と心不全の鑑別についての質問、血ガス所見の見方に対する質問、気管内挿管を選択しなかったことに対する質問などがなされ、活発な討議が行われた。

(内科 長澤秀彦)

## 第 104 回 開放病床症例検討会の報告 (H21. 9. 15)

第 104 回開放病床検討会は、たこつぼ型心筋障害の病歴を有する発作性心房細動の症例について動画ファイルなども使用してのプレゼンテーションが行われました。急性心筋梗塞を含めた心筋虚血の除外やその他の疾患の鑑別について討論がありました。

勉強会では、たこつぼ型心筋障害および 2008 年に改訂となった心房細動治療(薬物)ガイドラインについての概説を行いました。CHADS<sub>2</sub> による血栓症の高危険群の拾い出し、抗凝血療法を基本とする海外のガイドライン、AFFIRM などでのレートコントロールと洞調律維持を目標とした海外での大規模試験の成績、さらに心房細動治療(薬物)ガイドラインの背景ともいえる日本で行われた J-RHYTHM について報告しました。勉強会でも心房細動の基礎疾患、特に虚血性心疾患の十分な除外が前提となることが強調されました。



発作性とは7日以内に自然停止するもの。持続性はそれ以上持続するものを指す。

Ablate&Pace = 房室接合部アブレーション+心室ペーシング,  
\* : 保険適用なし

(内科 島倉淳泰)

次回の開放病床症例検討会は

10月20日(火)、11月17日(火)です。

# PMDAについて

PMDAをご存じですか。

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下PMDA:Pharmaceuticals and Medical Devices Agency）は、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センターと医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構、および財団法人医療機器センターの一部の業務を統合し、平成16年4月1日に設立されました。

PMDAは、医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健康被害に対して、迅速な救済を図り（健康被害救済）、医薬品や医療機器などの品質、有効性および安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し（承認審査）、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う（安全対策）ことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的とされています。

開設以来、この数年間の間に、PMDAのホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）が飛躍的に良くなって来ています。以下、個人的に利用している部分を中心に、簡単に紹介しますので参考にさせていただけると幸いです。

まず、医薬品・医療器具に関連する医療事故防止対策について、過去のヒヤリ・ハット報告等から、医療事故防止策の情報が公開されています。取り違えることによるリスクの高い医薬品に関する安全対策や厚生労働省から発出された医療安全対策に係る関連通知等が一カ所に纏められており、大変見やすくなっています。また、このヒヤリ・ハットについては事例等検索システムが提供されており、自院で起きたインシデントと同様な報告の有無を検索することや、その要因はどう分析されており、どのような改善策が実施されたかなどを参考にすることも可能です。

医薬品関連情報では、医療用医薬品や一般用医薬品の添付文書を検索することができます。しかも追加安全性情報などから、添付文書の内容が変更になると、掲載情報もメンテナンスされます。また、医療機器関連情報では、医療機器の添付文書も閲覧できます。

重篤副作用疾患別対応マニュアルの提供があります。これには、患者さん向けと医療者向けの情報があり、患者さんへの説明用、コメディカルスタッフへの情報用と、区別して利用することができます。

最後に、医薬品医療機器情報配信サービスを紹介します。これは医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報が発出された時に、タイムリーにその情報をメールによって配信するサービスです。膨大な情報の中、必要な組み合わせを取捨選択することもでき、受信するメールを最小限にすることも出来ます。配信された情報はメールとして残りますので、全てを受信してメールソフトの中で過去情報を検索し、簡易データベースのような使い方も可能です。

メールの配信には登録が必要ですが、その他は誰でも無料で利用することができます。ホームページに集められた情報や機能に関しては書ききれない程の物があります。興味をもたれた方は是非一度ご覧になって見てください。

（薬剤部 堂川嘉久）

PMDAのホームページ <http://www.info.pmda.go.jp/>

The screenshot shows the PMDA homepage with the following elements:

- Header: 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (Pharmaceuticals and Medical Devices Agency)
- Navigation Menu: 医薬品関連情報 (医療関係者向け), 医療機器関連情報 (医療関係者向け), 一般の皆様向け情報, おくすり・医療機器相談, 医薬品医療機器情報配信サービス, 医療用医薬品添付文書情報, 医療機器添付文書情報, 一般用医薬品添付文書情報, 体外診断用医薬品添付文書情報, 患者向医薬品ガイド・くすりしるし
- News Section: アクセランキング, 新着情報 (including 医薬品医療機器に関する医療安全対策, 医薬品医療機器等安全性情報 No.261, 医薬品医療機器等安全性情報 No.261)
- Forum Announcement: 第11回薬害根絶フォーラム (平成21年10月25日, 13:30~17:30, キャンパスプラザ京都5F第1講義室)
- Footer: 参加者募集中!! 財団法人日本薬剤師研修センター研修会のご案内 (適正使用のための医薬品情報 ~副作用早期発見をめざして: 皮膚科領域の副作用~)

## 看護部会研修会

### ～アロマテラピーとハンドマッサージ～

8月の看護部会では、「看護師のリフレッシュと日々の看護に活かす」目的で初めて「アロマテラピーとハンドマッサージ」の研修会を行いました。講師には当院の元職員で、現在は助産師としてまたセラブラールケアインストラクター・クリニカルアロマセラピストとして活躍中の山田慶子さんをお招きしました。

たくさんのアロマオイルの紹介があり、自分の気に入った香りを嗅ぐことによりとてもリラックスすることができました。香りにはいろいろな効果があり、不眠にはラベンダー、ダイエットにはグレープフルーツの香り、その他殺菌などの作用や、更年期障害、皮脂バランスのくずれによるニキビなどさまざまな症状に作用するものがあると伺いました。

実際にアロマオイルを使用しハンドマッサージを行いました。マッサージをされての感想として、ただ気持ち良いと言うだけではなく香りにより仕事の疲れやストレス解消につながったと思います。

今回の看護部会では、参加した職員全員がリフレッシュすることができ、たくさんのアロマテラピーの効果を学び、病院内でも活用できるのではないかと感じました。この体験を今後の看護に活かしていきたいと思います。

(病棟看護師 京塚恵子)

## 外来診療担当表

※は手術日

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	午前	1診	舟木	島倉	長澤	老子	舟木
		2診	島倉	高田	舟木	高田	島倉
		3診	長澤	長澤	島倉	長澤	長澤
	午後	1診	老子	長澤	長澤	舟木	老子
		2診	高田		高田		
外科	午前	大上/湯口	大上/湯口	大上/湯口	大上/湯口	大上/湯口	
	午後	大上/湯口	大上/湯口	※大上/湯口	大上/湯口	大上/湯口	
整形外科	午前	中山	中山	中山	中山	中山	
	午後	中山	※中山	中山	中山	中山	
産婦人科	午前	井川	井川	井川	井川	井川	
	午後	※井川	井川	井川	井川	井川	
眼科	午前	坂井	坂井	坂井	坂井	坂井	
	午後	坂井	坂井	坂井	※坂井	坂井	

## 年末年始の休診のお知らせ

○印は通常どおり診療を行います。

月日	12/26(土)	12/27(日)	12/28(月)	12/29(火)	12/30(水)	12/31(木)	1/1(金)	1/2(土)	1/3(日)
午前	休診	休診	○	○	○	休診	休診	休診	休診
午後	休診	休診	○	○	○	休診	休診	休診	休診

富山通信病院地域医療連携室

電話番号：076-421-7819

F A X：076-421-7829